

生命環境学部の教育

この学部では何をどのように
学べるのでしょうか

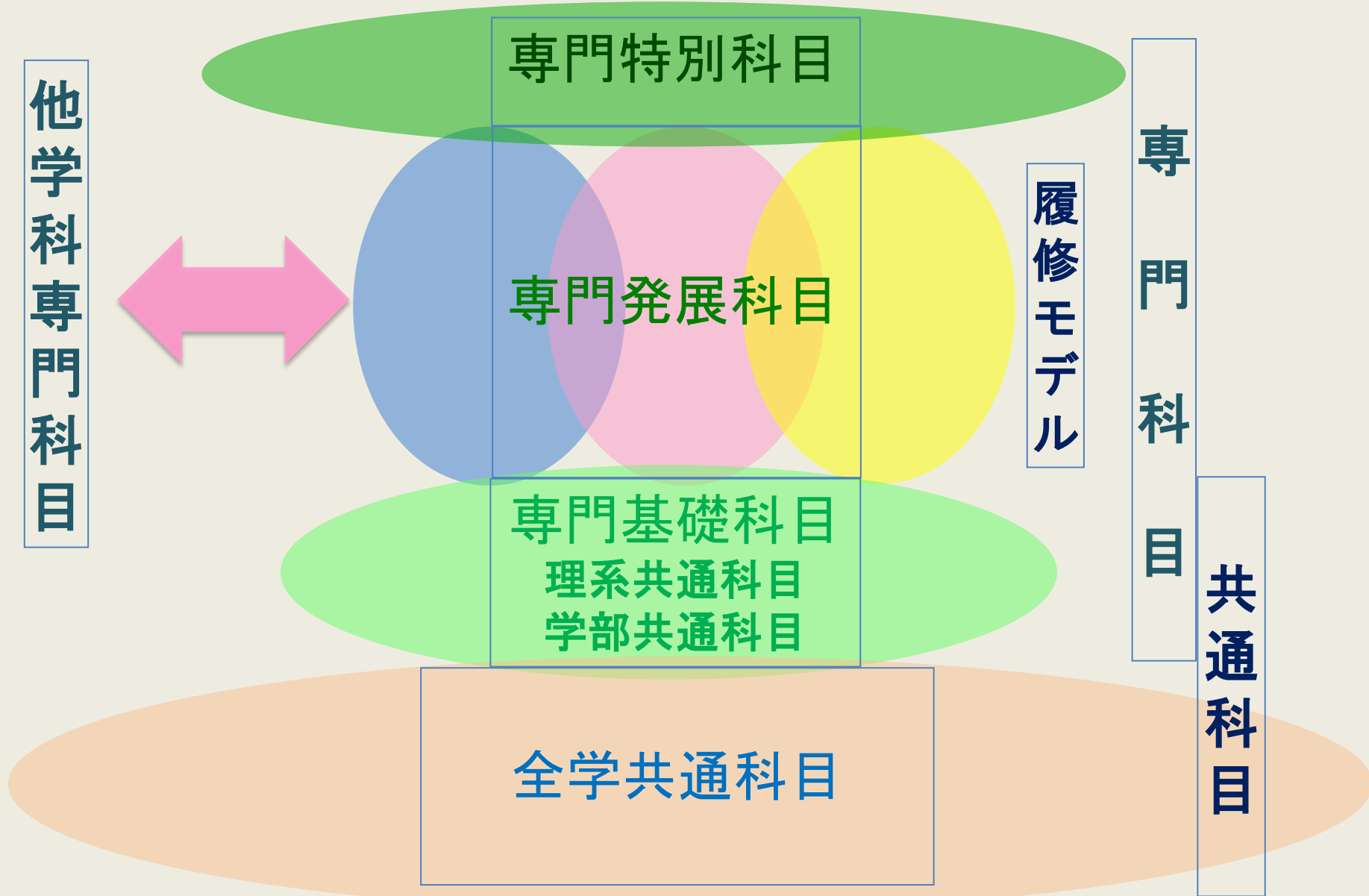
生命環境学部の教育の特色

- (1) 生命・食・環境・経営に関する実践的な教育を行う
- (2) 基礎を重視し、学科間の垣根を低くした学科横断的な学際教育を行う
- (3) 大学院への連続性を重視した基礎教育と専門教育を行う
- (4) 地域と連携したフィールドワークを始めとする実験・実習重視の実践的な教育を行う

生命環境学部の教育の特色2

これらの特色ある教育によって、自然科学の知識に加え、社会科学の視点をもつて、環境と調和した諸技術の開発や食料の持続的な生産と供給を担うことのできる、**実践的な専門職業人**を育成します。

生命環境学部教育体系



専門基礎科目と専門発展科目

生物化学工学/細胞培養工学/構造生物学/生体物質論/生体触媒学/発生工学/生物工学実験/ゲノミクス演習 など

生命工学科

環境化学/生態学/多様性生物論/気象学/水圏科学/土壌科学/環境情報学及び実習/環境マネジメント実習/システムダイナミックス及び実習 など

環境科学科

学部共通基礎科目

共生科学入門/生命環境基礎ゼミ
/生物資源論/生物資源実習
/情報処理及び演習/基礎統計学
/基礎統計学演習 など

地域食物科学科

農作物栽培学/農作物生産学/食品製造学/ワイン微生物学/ワイン製造科学実習/ワイン科学/食品保蔵学/食品栄養学 など

地域社会システム学科

食料問題とグローバル経済/ミクロ経済学/マクロ経済学/経営戦略論/地方財政学/マーケティングと消費者行動/行政学/政治学原論/法律学概論など